

植物園ニュース

NEWS
1

林職員が坂崎奨励賞を受賞・植物園シンポジウムを開催

●6月19日に(公社)日本植物園協会の第53回大会が広島市で開催され、当園の林企画課長代理が、坂崎奨励賞を受賞されました。同賞は、植物園および関連施設における若手職員の研究活動等を奨励するために設けられた賞で、林職員は、植物園における教育活動や、観賞温室室内での大規模展示に主導的な役割を果たし、植物や園芸、緑化に対する普及啓発、花き園芸産業の振興、入園者拡大に貢献したことが評価されたものです。氏は植物園協会の教育普及委員も務めており、来年度に建設予定の子供向けの庭園施設についても主導的な役割を果たしています。

●10月7日には、当園で第15回植物園シンポジウムが開催されました。今回のテーマは「ナショナルコレクションー 貴重な植物を後世に伝える」。日本を代表する園芸植物の産地である新潟県において、植物の多様性やその危機的な状況、イギリスでの保全の取り組みや植物園で保全される植物コレクションを紹介することで、かけがえのないすばらしい日本の植物を守り、後

世に伝えるための提案を行いました。

日本植物園協会のナショナルコレクション認定制度は、「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的としており、来年1月からは一般の方からの応募受け付ける予定です。ポケヤカラタチバナなど貴重な植物が保存されている新潟県からも多数の応募があることを期待しています。(倉重祐二)

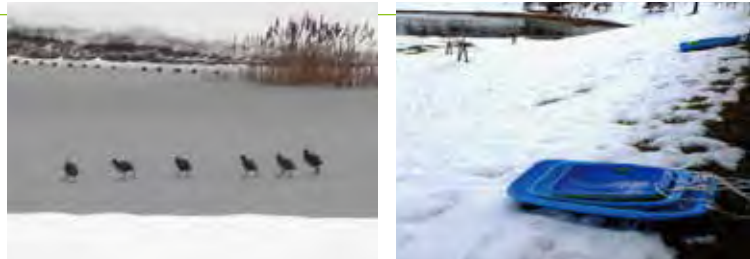


安城産業文化公園デンパーク長澤氏の講演「イギリスにおける植物保全 ナショナルプラントコレクション」

NEWS
2

気分爽快! ソリ遊び

●植物園の春はシャクナゲ、夏はスイセン、秋は紅葉を楽しめます。冬は見どころがないのでは?と思う方に、冬でしか体験できないオススメ情報があります。雪が積もると、園地の芝生広場にソリ・雪遊びエリアが登場し、無料でソリを借りて自由に遊ぶことが出来ます。なだらかな斜面で、小さなお子様は安心して滑ることができ、2人乗りのソリを使って親子や友達同士と一緒に滑れば、楽しさ倍増です。雪だるまを作って、落ちている木の実や枝を使って顔の表情を作ったりすることで、木の実



をじっくり観察したり、雪の触感や冷たさを体感することが出来ます。植物園周辺には、ウサギやタヌキなどの動物が生息し、池にはマガモやオオバンなどの水鳥も数多くいますので、雪上の動物の足跡を見比べてみるのも、冬ならではの楽しみです。(小日向美香)

NEWS
3

ラジオチャット「なじらねラジオ」に出演

●ラジオチャット・エフエム新津の番組「なじらねラジオ」(76.1MHz)で毎月第4金曜日の11時15分くらいから15分程度、園長の倉重が出演しています。

これまでに「にいがたコーヒープロジェクト」、コシガヤホシクサの保全、ハロウィン写真コンテスト、新潟島の公園と庭園の魅力など、普段あまりお伝えできないさまざまな話題を選んでお話ししています。

秋葉区外の方でもインターネットでも配信していますので、リアルタイムのみですが、お聞きになることができます。最後には園長おすすめのクラシックを流しますので、合わせてお楽しみください。

JCBAインターネットサイマルラジオ
https://www.jcbasimul.com/?radio=radiochat



NEWS
4

『カレンダープロジェクト』はじめました

●現在、新潟県立植物園では、20周年を記念したカレンダーの作成を行うため、平成10年から現在までの新潟県立植物園にまつわる写真を募集しています。さらに、お寄せいただきました写真では、これまでの植物園の歴史を振り返る回顧展や、アニバーサリーグッズの作成なども予定しています。

写真の応募は、プロ・アマ不問です。新潟県立植物園で撮影したことが確認できるものであれば、紙焼き、デジタルなどどのような方たちでも構いません。ご応募いただく方法は、「持参」、「郵送」、「メールでの送付」、「SNSへの投稿」の4種類です。SNSへの投稿の場合は、「#新潟県立植物園CP」とつけて、投稿してください。また、植物園に写真をご持参いただきますと、もちろん全員に、植物園関連グッズを進呈いたします。

応募締切は、平成31年3月31日としております。

たくさんのご応募をお待ちしております。

詳しくは、植物園公式HPをご覧ください。



催し物のご案内

◆植物園の最新イベント情報は、公式ホームページやSNSでチェック!



フォロー&いいね!をお願いします

| 観賞温室第2室 企画展示 | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 4(金)1 27(日) | 新春展 |
| 1 30(水)2 24(日) | にいがたの花 アザレア |
| 2 27(水)3 24(日) | にいがたの花 チューリップ |
| 観賞温室第3室2階 特別展示 | |
| 2 2(土)2 11(月・柳) | クリスマスローズ展 |
| 3 2(土)3 10(日) | 洋ラン展 協力/越後洋らん倶楽部、新潟らんの集い |

| 観賞温室第3室1階 作品展示 | |
|----------------|---|
| 1 4(金)1 20(日) | 第51回新潟県花いっぱいコンクール作品展 出展:あしたの新潟県を創る運動協会 |
| 1 22(水)2 3(日) | 秋山庄太郎 花の写真展 |
| 2 5(水)2 17(日) | 友の会写真展・冬芽展示 出展:新潟県立植物園友の会 |
| 2 19(水)3 10(日) | にいがた花絵プロジェクトの歴史 出展:にいがた花絵プロジェクト実行委員会 |
| 3 12(水)3 31(日) | 外山康雄 野の花の水彩画展 出展:外山康雄野の花館 |

開園20周年記念特別企画

| | |
|----------------|----------------------------|
| 3 2(土)3 10(日) | 洋ラン展 ～県内洋ラン愛好家出展～ |
| 3 8(金)3 10(日) | ～遺伝子組み換えの奇跡～ 青いコショウラン展示 |
| 3 16(土)3 17(日) | サンクスフェスタ ～あれこれ無料DAY～ |

温室入館無料

| 花と緑の教室 *要予約/開催日の1か月前から電話受付 | |
|--|---|
| 会場・集合場所●花と緑の情報センター2階(無料入館エリア) *参加費には温室入館料が含まれています | |
| 1 6(日) 11:00-12:00 | 植物と食文化講座 第4回「七草がゆ」という文化 ●定員:10名 ●参加費:1,500円 ●講師:田中良明(当園職員) |
| 1 12(土) 13:30-15:00 | 新年を彩るミニ盆栽づくり ●定員:10名 ●参加費:1,500円 ●講師:高橋星児(ほんさい屋とき) |
| 2 2(土) 13:30-15:00 | 花散歩⑪ にいがたの花「アザレア」 ●定員:15名 ●参加費:1,000円 ●講師:倉重祐二(当園園長) |
| 2 10(日) 13:30-15:00 | 植物学講座⑧ バラの植物学 ●定員:30名 ●参加費:500円 ●講師:森田竜義(新潟県立植物園友の会会長) |
| 2 13(水) 13:30-15:00 | 花散歩⑫ 冬の植物観察のコツ ●定員:15名 ●参加費:500円 ●講師:久原泰雅(当園職員) |
| 2 17(日) 13:30-15:00 | ハーバリウムで癒しのインテリアを作ろう! ●定員:15名 ●参加費:2,500円 ●講師:高橋美千代(新潟県都市緑花センター花と緑のアドバイザー) |
| 3 10(日) 13:30-15:00 | 植物学講座⑨ タンポポとアオイ～植物の名前 ●定員:30名 ●参加費:500円 ●講師:森田竜義(新潟県立植物園友の会会長) |
| 3 13(水) 13:30-15:00 | 花散歩⑬ チューリップよもやま話 ●定員:15名 ●参加費:500円 ●講師:木山成(当園職員) |

平成31年度植物園ボランティアスタッフ募集!

植物園の管理のお手伝いをしていただけるスタッフを募集します。
植物の管理、資料整理、展示解説などの作業があります。健康で、植物に興味のある方ならどなたでも参加いただけます。登録には説明会への出席が必要となりますので、興味がある方はご出席ください。

●説明会日時 ※どちらか都合の良い日にご出席ください。
3/14(木)、3/17(日) 10:30から30分程度

| 観賞温室開館日 ※温室開館時間/9:30～16:30(入館締切16:00) □休館日 | | |
|--|----------------------|----------------------|
| 1 January | 2 February | 3 March |
| 日 月 火 水 木 金 土 | 日 月 火 水 木 金 土 | 日 月 火 水 木 金 土 |
| ・ ・ 1 2 3 4 5 | ・ ・ ・ ・ 1 2 | ・ ・ ・ ・ 1 2 |
| 6 7 8 9 10 11 12 | 3 4 5 6 7 8 9 | 3 4 5 6 7 8 9 |
| 13 14 15 16 17 18 19 | 10 11 12 13 14 15 16 | 10 11 12 13 14 15 16 |
| 20 21 22 23 24 25 26 | 17 18 19 20 21 22 23 | 17 18 19 20 21 22 23 |
| 27 28 29 30 31 ・ ・ | 24 25 26 27 28 ・ ・ | 24 25 26 27 28 29 30 |

◆屋外園地無料 ◆無料駐車場300台収容

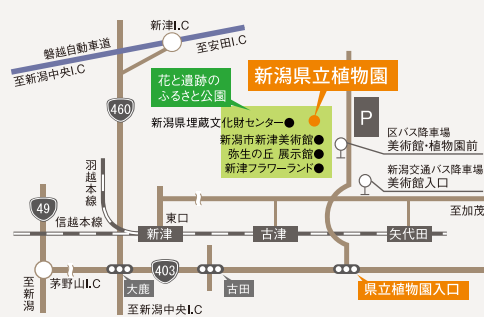
新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
HP http://botanical.greenery-niigata.or.jp/

指定管理者 国際総合学園・都市緑花センターグループ

情報発信しています

新潟県立植物園 検索



植物園インキで印刷しています

| 観賞温室利用案内 | | | | |
|-----------------|------|---------------|--------------|--------------|
| | 個人 | 団体 (20名以上) | 回数券 (5回分) | 定期券 (6ヶ月) |
| 大人 | 600円 | 480円 | 2,500円 | |
| シルバー (65歳以上) | 500円 | | | |
| 高校生・学生 | 300円 | 300円 | | 1,200円 |
| 小・中学生 | 100円 | 100円 | | |

●シルバー料金での入館は生年月日を証明できる物の提示が必要となります。
●高校生・学生料金での入館は学生証の提示が必要となります。
●身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者は無料となります(等級により助費無料)。

JR 信越本線古津駅下車徒歩約25分
バス 区バス:新津駅東口から「新津駅西口」行き
「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
新潟交通バス:新津駅東口から
「矢代田経由白根・湯東営業所」行き
「新津美術館入口」下車徒歩約10分
高速道路 磐越自動車道新津ICから国道403号で
三条/加茂方面へ約15分
一般道路 (新潟方面から)国道49号から茅野山ICを
国道403号加茂/新津方面へ20分

NIIGATA Prefectural Botanical Garden

NEWSLETTER

新潟県立植物園 植物園だより

2019 winter Vol.72

ヒメアオキ <ミズキ科>

Aucuba japonica var. *borealis*

ヒメアオキは、日本の固有種で関東地方以西に自生しているアオキの変種。常緑低木で樹高が3メートル程になるアオキに比べ、樹高が1～1.5メートルと低い。北海道から中国地方までの日本海側の多雪地帯に分布している。雌雄異株で3～5月に紫褐色の花を咲かせる。雌株には秋から春にかけて赤く実が熟す。林床などの半日陰によく生えていて目立たないが、他の植物が落葉している早春に赤い実がひときわ目につく。運動不足になりがちなこれからの季節に身近な林や里山を散策し、ヒメアオキを探してみたいかだろうか。(木山 成)



event

開園20周年記念 特別企画

3|2(土)3|10(日) 洋ラン展

3|8(金)3|10(日) 青いコショウラン展示

3|16(土)3|17(日) サンクスフェスタ ●温室入館無料

新春展 2019年 1/4(金) 1/27(日)

マツ、タケ、ウメを中心に、縁起の良い植物をあしらった和風庭園の中に、カラタチバナやマンリョウなどの伝統園芸植物を展示。江戸時代に花開いた我が国独特の園芸文化にふれることができます。

新しい年のはじまりにふさわしい、清らかなひとときをお過ごしいただけます。



カラタチバナ



アザレア



にいがたの花

新潟県は全国有数の花卉生産地です。この展示では、新潟県が全国一の生産量を誇るアザレア、新潟県の花であるチューリップをとりあげます。

アザレア 1/30(水) 2/24(日)

日本最大! 1800年代の古品種から最新品種まで250品種のコレクションから120品種1000鉢のアザレアを公開。アザレアとはどんな植物か、現在全国生産量の9割を占め、渡来以来日本のアザレア生産をリードしてきた新潟県での栽培の歴史や、アザレアの「今」について解説します。

冬の間雪に包まれる新潟で、花にかこまれる感覚はこの展示ならではの。ぜひご体感ください!

チューリップ 2/27(水) 3/24(日)

新潟県は切り花生産全国1位、球根生産全国2位のチューリップ王国。期間中30品種15,000本を展示。さまざまな花形、花色のチューリップが並びます。

小さな子どももみんな知っているチューリップですが、いったいどこから来たのか、なぜ新潟で生産がさかんなのか、など、意外と知られていないこともあります。原産地から新潟に至るまでの歴史や、性質、栽培などについてわかりやすく解説します。

3月3日(日)、10日(日)、17日(日)は、花絵プロジェクトによる切り花販売が行われます(予定)。



切り花展示



下:バックヤードであたためています!



新潟県オリジナル品種「越黄冠」



クリスマスローズ展

2/2(土) 2/11(月・祝)

冬の貴婦人、クリスマスローズの展示を行います。うつむいて咲く姿が人気で、品種改良により実に多様な花色や花形を見ることができ、冬から早春に出回り、各地で展示会が行われます。

特に生産がさかんな新潟市秋葉区では、区内の花の施設(花夢里にいつ、新津フラワーランド、うららこすど、新潟県立植物園)が連携したイベントを開催。

ぜひこの機会に、ファンを魅了するクリスマスローズの世界をお楽しみください。

秋葉区内各施設のイベント

花夢里にいつ「クリスマスローズまつり」

◆2月2日(土)~3月5日(火)

新津フラワーランド「第18回新潟クリスマスローズ展」

◆2月2日(土)~2月11日(月・祝)

うららこすど「うららこすどクリスマスローズ展」

◆2月2日(土)~3月3日(日)



過去の展示

洋ラン展

3/2(土) 3/10(日)

会場では県内の洋ラン愛好家の皆さんが丹精込めて育てた気品と優雅な姿と香り、華やかさ溢れる洋ランを展示します是非お楽しみ下さい。

今回は特別展示として3月8日(金)~10日(日)の3日間、らん展などでしか見ることが出来ない千葉大学植物細胞工学研究室内の三位教授が「青い花を咲かせる遺伝子」を導入して2013年に発表された「青いコチョウラン」を展示します。

期間限定のランショップも開店しますのでご利用ください。



サンクスフェスタ

3/16(土) 3/17(日)

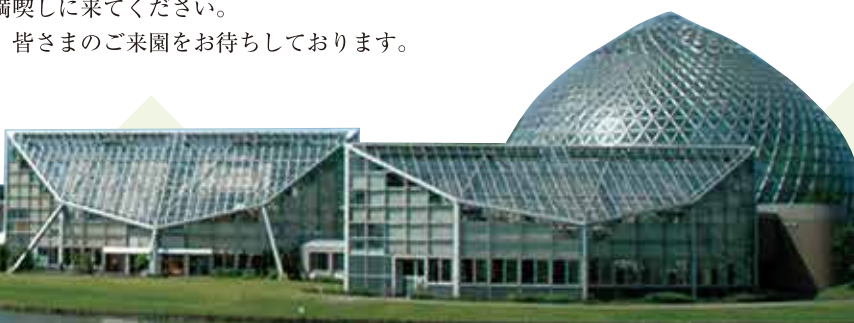
平成10年12月1日に開園した新潟県立植物園は、おかげ様で今年度、開園20周年を迎えることができました。その感謝の気持ちを込めまして、今年度は、たくさんの方の企画を行ってまいりました。

皆さまへの感謝に加え、次の20年へ向かうための新たな挑戦の思いも込めてサンクスフェスタを実施します。

サンクスフェスタでは、温室に無料でご入館できるほか、体験コーナーや新潟県産の花を販売する予定です。

暖かい春が待ち遠しい3月。花いっぱい、楽しさいっぱいの植物園で休日を満喫しに来てください。

皆さまのご来園をお待ちしております。



清らかな青紫色、ブルージンジャー

(*Dichorisandra thyrsiflora*) ツクサ科

熱帯ドームの池の近くで9月頃から冬になるまでの約2か月間、人目を惹きつける鮮やかな青紫色の花を咲かせるブラジル原産のブルージンジャー。

葉や茎がショウガに似ており、名前に「ジンジャー」がつくことからショウガの仲間と思われるようですが、実はツクサ科の植物です。

和名は「大立唐草」。唐草と聞くとマメ科のウマゴヤシや、唐草模様に使われる植物を想像するかと思われそうですが、「唐草」とは外来の草という意味でしょう。もう一つの和名は「木立紫露草」。一つ一つの花を見ると和名の紫露草に似ています。

ツクサ科は約30属400種あり、そ

のほとんどは熱帯に分布し、温帯域には少ない植物です。

ツクサ科といえば、紙や布にこすりつけて生まれる日本の伝統色「露草色」がありますが、時間が経つとその色は消えてしまいます。色が消えやすいことから「万葉集」では別名「つきくさ」が「うつろう」や「消える」にかかる枕詞として登場し、儚く消えてしまう露草色を涙に濡れてうつろう恋心にかけています。ブルージンジャーの清らかな青紫色からもロマンチックを感じます。

一年のうち秋の2か月ほどしか見られない貴重な姿、ぜひご覧下さい。

(早川裕巳)



新潟の植物

今年度の保全活動および調査・研究

当園は(公社)日本植物園協会に所属し、全国の植物園と協力して様々な事業を行っています。生物多様性保全に関しては、環境省と連携し、絶滅危惧種の生息域外保全や外来種対策、教育活動などを進めています。

今年度は、当園では絶滅危惧種であるイイデリンドウ、ミョウコウトリカブト、サドアザミの種子収集や、特定外来種オオキンケイギクの分類再検討と分布調査を行っています。

その他にも、明治大学と共同でヒメサユリとササユリ、ヤマユリの系統関係の調査を行っており、ヒメサユリと最も分布が近く、最北端に自生する中越地域のササユリの確認を行いました。中越地域のササユリは37年前の記録がありますが、それ以降確認されておらず、昨年探していましたが、今年度ようやく再確認することができました。ただし、今年度の調査ではほんの数個体しか確認できませんでしたので、情報をお持ちの方はご連絡いただければ幸いです。

また、水草の保全や調査研究を行っている水草保全ネットワークでは、代表である筑波



鮮やかな青い花を持つイイデリンドウ



37年ぶりに再確認した中越地域のササユリ

実験植物園の田中法生研究員を中心に「水草の疑問50(成山堂書店)」を執筆し、発刊となりました。植物園外で行う調査・研究などの業務は、なかなか思うように進みませんが、徐々に成果も出始めていますので、今後も進捗をご報告していこうと思います。

(久原泰雄)

